

Tokyo Oratorienchor

東京オラトリエンコール

第33回演奏会

J.S.Bach

Weihnachts-Oratorium

クリスマスオラトリオ BWV248 1・2・3部

Motette 1 BWV225

Singet dem Herrn ein neues Lied

モテット 1番：新しい歌を主に向かって歌え BWV225

指揮：岡本 俊久

ソプラノ：中江 早希

アルト：山下 未紗

テノール：渡辺 大

バス：原田 圭

2026

11/29(日)

午後2時 開演

午後1時15分 開場

全席指定 4,000円

※チケットぴあでも取り扱っております。

Pコード：333-691

オルガン：小林 英之

管弦楽：アンサンブル・アルス・ノヴァ

合唱：東京オラトリエンコール

第一生命ホール

(晴海トリトンスクエア)

都営大江戸線 勝どき駅 A2a出口 徒歩8分

後援：バッハ資料財団（ライブツィヒ）

一般社団法人 日本バッハ協会

お問合せ yk.bachjapan2023@gmail.com

第一生命ホール

チケット
ぴあ



※新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。



岡本 俊久 おかもと としひさ 指揮

早稲田大学在学中より、同大学グリークラブの学生指揮者として、定期演奏会やアメリカ演奏旅行などで活躍。指揮法を手塚幸紀、小林研一郎の両氏に師事。1974 年『日本合唱協会』に入団し、合唱歌手として活動する傍ら、NHK 東京放送合唱団を指揮するなど指揮者としての活躍の場を広げ、多くの邦人合唱曲の初演も手掛ける。また、オーケストラとの共演も多く、バッハやモーツァルトなどを得意のレパートリーとしている。

武蔵野合唱団常任指揮者、日本フィルハーモニー協会合唱団常任指揮者を経て、1995 年『東京オラトリエンコール』を結成。以来数年ごとに同団を率いて、バッハ縁の地ライブツィヒの聖トーマス教会、聖ニコライ教会、聖ペーターズ教会などで演奏会を行い好評を得ている。2026 年 1 月、9 度目のドイツ演奏旅行では、ヴルツェンの聖マリエン教会(ヴルツェン大聖堂)にて、バッハの『クリスマス・オラトリオ』の演奏を指揮し、好評を得た。



中江 早希 なかえ さき ソプラノ

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。在学時、ハンス・アイスラーの歌曲を研究し、大学院アカンサス賞受賞。三菱地所賞受賞。

宗教曲では、モーツァルト作曲『ハ短調ミサ』、『レクイエム』。ベートーヴェン作曲『交響曲第九番』、『ミサ・ソレムニス』。メンデルスゾーン作曲『エリア』。フォーレ作曲『レクイエム』。マーラー作曲『千人の交響曲』。カール・オルフ作曲『カルミナ・ブラーナ』などのソリストの他、シェーンベルク作曲の『月に憑かれたピエロ』などの室内楽のソプラノソロを務める。



山下 未紗 やました みさ アルト

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程独唱専攻修了。サントリーホールオペラアカデミー 3 期生ディプロマ取得。第 27 回ドイツ友愛リートコンクール第 3 位。第 26 回神戸国際音楽コンクール優勝賞並びに神戸市民文化振興財団賞を受賞。宗教曲ではメンデルスゾーン『エリヤ』、ベートーヴェン『ミサ・ソレムニス』、『第九』、ブルックナー『レクイエム』、J.S.バッハ『マタイ受難曲』、『ロ短調ミサ曲』、ヘンデル『メサイア』、ロッシーニ『小荘厳ミサ曲』、M.デュリュフレ『レクイエム』、J.ハイドン『十字架上のキリストの最後の 7 つの言葉』等のソリストとして出演。サントリーホールと港区共同プロジェクト等にて、後進育成にも力を入れる。



渡辺 大 わたなべ だい テノール

明治大学を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程(オペラ)修了。在学中より小澤征爾音楽塾に参加。新国立劇場オペラ研修所修了公演『ファルススタッフ』、『イル・カンピエッロ』に客演。三枝成彰作曲『KAMIKAZE-神風-』世界初演では山口耕太少尉役で出演。ソリストとしてはヴェルディ『レクイエム』、モーツァルト『レクイエム』(小林研一郎指揮)、東シティ・フィル『合唱幻想曲』、『第九』、『メサイア』の他、イタリアでは V.チマッティ作品をファエンツァにて演奏した他、クレモナ音楽祭にソリストとして出演するなど国際的にも活躍している。日本声楽家協会教育センター講師。聖学院大学聖歌隊ボイストレーナー。啓声会運営委員。



原田 圭 はらだ けい バス

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程、及び博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。在学中に安宅賞受賞。『藝大メサイア』公演のソリストとしてデビュー。第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール第 1 位、中田喜直賞受賞。第 77 回日本音楽コンクール入選。新国立劇場、二期会、日生劇場等のオペラ公演をはじめ、バッハ『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、『クリスマス・オラトリオ』、ベートーヴェン『第九』、デュリュフレ『レクイエム』等のソリストとして多数出演。ウィーンにてシューベルト歌曲集『冬の旅』のリサイタルを開催。プラハ国立歌劇場特別公演モーツァルト『レクイエム』公演にソリストとして抜擢され、プラハ国立歌劇場管弦楽団と共演。千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部及び同大学院講師。二期会会員。

東京オラトリエンコール

コーラスマスター岡本俊久氏が発起人となり、1995 年 3 月に設立したアマチュア混声合唱団。岡本氏のモットーである『生き生きした音楽』を常に心がけて活動している。ドイツ宗教音楽をレパートリーの中心に置き、これまでにバッハ『クリスマス・オラトリオ』『ミサ曲短調』『ヨハネ受難曲』『マタイ受難曲』、モーツァルト『レクイエム』『ミサ曲ハ短調』、ハイドン『十字架上のキリストの最後の七つの言葉』などを演奏している。またこれまでにバッハ縁の地ライブツィヒを中心に 9 回のドイツ演奏旅行を行い、聖トーマス教会で礼拝の合唱隊を務めた他、バッハ『クリスマス・オラトリオ』『モテット』『ミサ曲短調』等を現地の演奏家と共演し、高い評価を受けている。

アンサンブル・アルス・ノヴァ

アルス・ノヴァ(新しい芸術)という名称を持つこの合奏団は 1971 年の第 1 回演奏会以来 50 年以上に亘って地道に演奏活動を続けている。それぞれがソリストとして通用する高い技量を持つ奏者からなり、その新鮮できめ細かい演奏には定評があり、フランスの巨匠ジャン=ピエール・ランパルやモーリス・アンドレ等との共演によって、内外に高い評価を得ている。レパートリーはバロックから現代まで広く、近年は J.S.バッハを中心とする宗教音楽にも積極的に取り組み、多くの名演を残している。

小林 英之 こばやし ひでゆき

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。ドイツ、フランクフルト音楽大学卒業。各地での独奏会のほか、アンサンブルへの参加も多い。オーケストラでオルガン・パートを担当し、神奈川フィル、アンサンブル金沢、東京シティフィル、N響、新日フィル、東京都響の定期演奏会には、ソリストとして出演。また、東京芸術劇場をはじめ各地のホールでオルガン関連事業の企画を担当するほか、中学生、高校生あるいは一般愛好家を対象としたオルガンに関する啓発活動も積極的に行っている。東京芸術劇場オルガニスト。

合唱団員募集

次回(第 34 回)演奏会(2027 年 9 月 20 日(日)第一生命ホール)に向けて、12 月より団員を募集いたします。

一緒に W.A.モーツァルトの『ミサ曲ハ短調』を歌いませんか？

- 練習日時＝毎週水曜日 午後 6 時 45 分～9 時 | 月 1 回日曜日または祝日 午後 1 時～5 時
- 練習会場＝目黒区民センター社会教育館、目黒区中央町社会教育館、他
- 会費＝月額 4,000 円＋演奏会積立金 1,000 円 | 入団費 1,000 円
- お問合せ：東京オラトリエンコール事務局 <yk.bachjapan2023@gmail.com>

